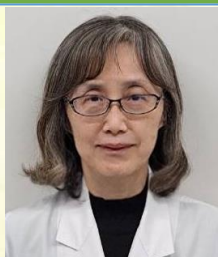
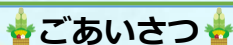




☆明けておめでとうございます☆



放射線科 部長
石井 美砂子 医師



明けましておめでとうございます。

昨年は異常気象で、いつまでも暑い夏が続き、やっと紅葉したかと思えば、いつの間にか年が明けてしまいました。

当院には、64列のCTが2台、1.5T MRI、3.0T MRI、核医学検査、PET検査と最新の装置と優秀な技師がそろっています。

食べ物は、旬が栄養豊富で美味しいと言われている様に、読影も旬のうちに、できるだけ早く、皆様のお手元に届けられる様にとっております。

今年もよろしくお願いいたします。

2024年6月より骨密度測定装置が新しくなりました!!

骨密度検査について

骨密度測定は、骨がどれくらい丈夫かを調べる検査です。この検査によって、骨粗鬆症や骨折のリスクを確認することができます。骨密度が高いほど、骨は丈夫で骨折しにくくなり、骨密度が低くなると、骨折しやすくなります。骨密度が低くなる原因としては、年齢とともに骨を作る力が弱くなることや、女性では閉経後にホルモンの分泌が急激に減少することが関係しています。

骨密度検査でわかること

- ・自身の骨密度
- ・同年齢の平均との比較
- ・骨粗鬆症の診断

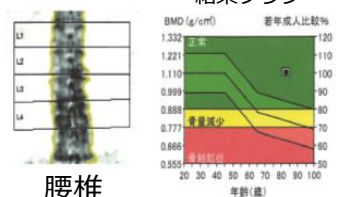
当院の骨密度検査の特徴

- ・検査時間は約10分
- ・超音波を利用した検査より正確に測定が可能
- ・低被ばくで検査が可能(胸部レントゲン検査の1/6程度)

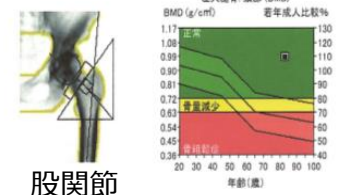
GE社製 PRODIGY Fuga



結果グラフ



腰椎



股関節

★担当医師から一言★



整形外科 部長
市川 哲也 医師

63.5%。これは65歳以上の高齢者が大腿骨近位部骨折を起こした場合の5年生存率の報告(2010年)です。癌全体の5年生存率は66.2%(2014~2015年診断例)ですので、ほぼ癌と同様に危険な病気と言えます。特に閉経後の女性は骨密度が年3~5%減少することが知られており、ひと昔のデータがいいからと見過ごされていることも非常に多いのが現状です。現在、骨粗鬆症治療は進歩しており、個々の状態に応じて骨量を増やし、骨折発生率を低減させることが出来ます。是非、骨密度検査を積極的に行っていただき、骨折の予防に繋がしましょう。

第2回

セミナー!

循環器内科における心不全に関する放射線検査
サブタイトル 検査を受ける際の注意事項について
診療放射線技師 齋藤 大輔 技師
趣味：寝ること

心不全について
サブタイトル あなたの心臓元気ですか?
循環器内科医師 丹羽 亨 先生
趣味：晩酌

動画はこちらのQRコードから



緊急の場合は、CT・MRI検査など個別相談にて対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせは
地域医療連携室まで

TEL 0532-31-2528
FAX 0532-31-2279

受付時間 8:30~17:30 (月~金)
8:30~12:30 (土)



© toyohashi city.toyocky